

令和元年度 第1回恵庭市都市計画審議会 会議録概要

開催日時	令和2年2月5日（水）9：30～10：10
開催場所	恵庭市役所 3階 301・302 会議室
出席者	〔委 員〕 瀬戸口剛、土谷秀樹、中野雅博、佐々木敏文 野沢宏紀、岩井利海、武藤光一、柏野大介 〔市 側〕 原田裕（市長）、北越俊二（副市長）、大槻雄二（企画振興部長）、岡田貴裕（まちづくり拠点整備室長）、 〔事務局〕 今野朋幸（まちづくり推進課長）、廣瀬新（同主幹）、岡田洋一（同主査）、後藤昭悦（まちづくり拠点整備室主幹）佐々木勇希（同スタッフ） 〔傍 聴 者〕 3名 〔欠 席 者〕 加藤強、瀬川真弓 【 会議概要 】 1. 開 会 2. 委嘱状交付 3. 挨拶 4. 議 事 ① 事前審議事項 千歳恵庭圏都市計画地区計画（戸磯地区）の変更（案）について（恵庭市決定） ② 報告事項 恵庭市都市計画マスタープラン改訂にかかるスケジュール等について 5. そ の 他 6. 閉 会
会長	1. 開 会 本日の委員会は委員 10 名中 8 名の出席。（1/2 以上の出席で成立） 2. 委嘱状交付 （市長より岩井委員、武藤委員、佐々木委員に委嘱状を交付） 3. 挨拶 （市長挨拶） 4. 議 事 第2回恵庭市都市計画審議会を進めさせていただきます。 本日の議事は事前審議事項の千歳恵庭圏都市計画地区計画（戸磯地区）の変更（案）について、報告事項の恵庭市計画マスタープラン改訂にかかるスケジュール等についてであります。事前審議事項は今回で内容をお知らせし意見いただき、次の本審議に迎えることになります。 それでは事務局からご説明をお願いします。
事務局	事前審議事項 ① 千歳恵庭圏都市計画地区計画（戸磯地区）の変更（案）について説明

A 委員	P3 の図面の青い部分において工業業務地区とレクリエーション・レジャー地区が並列しているがレクリエーション・レジャー地区と呼ばれるのでしょうか。
まちづくり 拠点整備室 長	小さいが矢印が間にあり、レクリエーション・レジャー地区→工業業務地区と表現しています。字が小さくて申し訳ありません。
会長	全体的に字を大きくしてください。
B 委員	都市計画提案制度は、恵庭市において過去の事例はありますか。
まちづくり 拠点整備室 長	平成 24 年において戸磯地区計画で都市計画提案制度が利用されました。遊戯施設が建築できるような提案でした。
会長	札幌では都市計画提案制度をよく使われ、高層マンションを建築できないようにするように要望があります。
C 委員	旧トライアルの建物面積を教えてください。また建蔽率は地区計画の変更で既存のものは規制を受けないのでしょうか。
まちづくり 拠点整備室 長	面積は店舗が約14,000㎡、温室が約1,700㎡、映画館が約4,000㎡で合計約20,000㎡です。建蔽率は地区全体で4/10であるので、既存の建築物も規制は受けますが、旧焼き肉店と映画館は取り壊すと聞いています。今後、500㎡を超える商業店舗については新築できなくなり、既存の店舗については工場に変更すると伺っています。
会長	今回は事前審議ですので検討していただき、次回の本審議で同様の説明から、問題なければ決定となります。
事務局	② 恵庭市都市計画マスタープラン改訂にかかるスケジュール等について説明。
会長	都市計画マスタープランの策定が平成23年です。20年後を目標とし計画で、10年ごとに見直すものです。
D 委員	道路整備方針図で目標人口が10万人であったときに都市計画決定されたものであったと思いますが、前回から人口を縮小し都市計画が見直されているなかで、道路整備の変更等が、どの時期に議論されるのか教えてください。

まちづくり 拠点整備室 長	平成23年の都市計画マスタープランは目標人口を100,000人から71,000人に縮小しておりますので、コンパクトなまちづくりを基本とした道路網となっております。今回の都市計画マスタープランもコンパクトなまちづくりを進めていきたいと考えていますが、道路整備方針については令和2年度の計画素案（事務局案）の段階で示すことができると考えています。
C 委員	市民会議とあるが、住民の意見をどのように聞くのかということを詳細にすることが重要と考えます。恵み野でのマンションの件やイトーヨーカドーの閉店もありますが、北広島のボールパークの話もあり、たくさんの雇用が生まれる。それらを加味した、しっかりしたマスタープラン考えて進めていただきたい。
会長	今回の改訂の目玉はなんでしょうか。
まちづくり 拠点整備室 長	コンパクトシティを進め、長期的な人口減少に負けない施策をどう作っていくか、市長の話でもありましたが、北広島のボールパークプロジェクトや千歳の空港拡大など大きなプロジェクトがあるなか、花のまち恵庭としてどのような新しいビジョンを出すのかが問われていると思います。
D 委員	人口減少に負けない話がありましたが、国としては立地適正化計画の策定を進めていくと聞いています。長期的なまちづくりとしては立地適正化計画が必要と考えますが、今回の都市計画マスタープランには盛り込まないのでしょうか。
まちづくり 拠点整備室 長	立地適正化計画の導入は未定であるが、コンパクトなまちづくりを作るという手法の1つとして考えています。その是非を含め、令和2年度の検討の中で考えていきたいと思っています。
会長	立地適正化計画と都市計画マスタープランの考え方はそれほど乖離するものではないと考えます。
会長	以上で今年度第1回恵庭市都市計画審議会を終了します。次の本審議もよろしくをお願いします。 （閉会） 以上